

あらためて知りたい天皇って? どこまで決まっている? 東京2020大会。ニッポンを盛り上げるトピック満載!

Discover Japan

2019
April

2019年4月号(毎月6日発売)
1冊120円(税込) 送料別/通巻109号

4

特集 **ニッポンの新たな時代、どうつくる?**

元号が変わると運気が変わる?
東京2020大会で世界にどう見せる?
オフィスで瞑想が新基準ってホント?
アートはビジネスに効く?
いま熱くおもしろい**地域**って?
なぜ「**チョコちゃん**」に叱られたいのか?

生き方のヒントになる
あのベストセラー作家や
経営者の座右の書とは?



「大家さんと僕」の作者
カラテカ・矢部太郎さん

ワインは、日本の國酒である。



真珠中になると人は本音を語りたくなる……

丸の内発

26時

Free (marunouchi) HOUSE AM 2:00

今月のゲストは、俳優の阪田藤郎さん。
学生演劇から始めると芸歴44年。
日本ワインを広めるために
日本中を駆けめぐる多忙な日々。
お話をたっぷりうかがいました。

Guest

俳優、
「日本のワインを
愛する会」会長
阪田藤郎
たつみたくろう

高校2年生のとき、つかこうへいの舞台に感動を受け芝居をはじめ。京都大学文学部在学中に関西で人気、実力ともにNo.1の「劇団そとぼこまち」を主宰。卒業後にNHKの連続テレビ小説「ロマンス」で俳優デビュー。クラシックや日本の食文化にも精通する。現在「日本のワインを愛する会」会長

Host

丸の内ハウス
統括マネージャー
玉田 泉
たまだいずみ

三葉地所時代は、大手町ビル1階の大手町カフェを担当。その後、丸の内ハウス統括マネージャーに就任。現在は同館を丸の内ハウス事務局で、執行中

校生の頃に出会って衝撃を受けました。つかさんの登場でアングラ演劇からいわゆる小劇場演劇にガラッと時代が変わりましたね。
玉田 小劇場って、女の子に人気があったんでしょう。
阪田 どちらかといえば、ですね。京都大学にあった学内サークルの「卒業生小町」を引き継いで、途中から心算がなの「劇団そとぼこまち」に。僕は実は4代目の座長で、5年間務めて、僕がスカウトした俳優の生田久が次の次の座長。
玉田 その頃、すごくオモテに当たっていました。
阪田 それなりに(笑)。人気があった劇団ですから。女子高生のファンも多かったな。学生劇団で2000人を動員するって、関西ではじめてでした。
玉田 すごい。私も関西にいらん見に行きたかった。

阪田 芝居って、大きなところでやろうとすると薄まっちゃうんですよ。音楽でも生とPAを使うのとでは全然違うでしょう。いまでも200人から300人の小団が一番おもしろいと思います。未年久しぶりに出演する予定です。
玉田 小劇場から、いきなりNHK朝の連ドラに抜擢されて。
阪田 最初は役者になろうとは思っていませんでした。仲間内で芝居づくりするのがただ楽しかった。役者にももちろん本業もいろいろ、僕もどちらかといえばプロデューサーでした。脚本を決め、公演場所を探し、手筈をつくって、チケット管理や宣伝戦略まで。
玉田 まさに経営者ですよ。
阪田 自前の稽古場を持ってダンス教室をしたり、映画上映会をしたり、スペースを貸したり、思いつくまわってました。日本ではじめて冠公演をやった学生劇団も

僕たちです。その頃からプロを指していました。でも芝居だけで生きていくって気になれないのが京大の欠点ですね。仲間のほとんどは一流企業に就職しました。
玉田 阪田さんは何になろうと。
阪田 あの頃は演劇プロデューサーになるんだらうと思っていました。
玉田 「くいしん坊!万才」の仕事で全国を回られて、地方の郷土料理を食べていらつしや。プロデューサーとしての才能に長けた方だからクラシックや日本ワインの普及にも貢献されてますよね。お友達も各界にいらつしやるからネットワークもスゴイ。
阪田 一度、この丸の内ハウスでワイン祭りをしてほしい。何度か経験していますが、どうしても料理がおろそかになるんですよ。
玉田 ワインって食中酒だから料理が絶対大事なんです。
阪田 このフロアの料理店が全部参加してもらえたらうれしいな。
玉田 総合プロデューサーになつていただければ、アリです。
阪田 チケット制で、全店舗をめぐって料理を食べて飲める、バル街スタイルはいかがですか？
玉田 はい、酒、楽しそうですね。
阪田 バル街を実施した面館で、最初には3軒、2回目は18軒、次は30軒近くはしりました。ここの

テラスも地方からの出店もできますよね。特設の舞台を出して。
玉田 どんとアイディアが膨らんでくる。私のほしご酒は頑強って8軒でした。
阪田 芝居やクラシックと同じように、地方の文化を残すために頑張っている人もなかなか食えないんですよ。だから僕らが声を上げる必要がある。
玉田 デイスクーパー・ジャパンも丸の内ハウスも、思えば同じです。
阪田 最近の傾向はもとも売れるものしかアピールしない。タイムジャパンでアニメが売れるのはいけれど、それだけが日本文化じゃない。食っていけない文化をどう継承し成長させるか考えなければ……。
玉田 食文化だけじゃなくて、建築とか芸術とか、いろいろがたくさんありますよ。
阪田 世界中の垣根がなくなるグローバルリゼーションの世の中で、日本の強みは何なのか皆で探さなきゃいけないね。
玉田 海があつて、山があつて、人の優しさがある。地方には日本文化がもつおもてなしの本質がありますよね。今日はまさに日本文化パー・ジャパン話になりました。私たちが丸の内ハウスも阪田さんと一緒に頑張ります!

丸の内ハウス
新丸ビル7階に、9店のレストラン&バーが入るフロアとして2007年に開業。中心部には各種イベントが開催できるスペースを配置し、さまざまな情報発信も行う

住所：東京都千代田区丸の内1-6-1 新丸ビル7F
営業時間：11:00～翌4:00
(日曜、祝日、連休最終日は～23:00) ※店舗により異なる
www.marunouchi-house.com

阪田さんが贈る日本ワイン論
探訪ワイナリー数200以上、年間販売数する日本ワインは約1000種に及ぶ。阪田藤郎さんが独自のワイン論を展開。「日本ワインを愛する会」副会長としての16年の歩みを振り返り、日本ワインの未来を語る一冊

「日本ワイン礼讃」
本体価格：1400円
著者：阪田藤郎
発行元：主婦と生活社



食文化がこんなにおもしろい国は、ありません。

丸の内ハウス

丸の内ハウス